

提案者

兵庫県神戸市

事業分野

健康寿命の延伸、移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり

## 背景・課題

目指す  
将来像

- ・ 郊外での自動運転サービスなどによる交通利便性を有するコンパクトなまちづくりや、ビッグデータを用いた公共交通再編による地域公共交通網の形成

解決すべき  
課題

- ・ 神戸市の高齢化や人口減少による公共交通需要減少対策や顕在化しつつあるバス運転手不足の解消、多様化する利用者ニーズに沿った新しい地域公共交通網のあり方の検討

## 2020年度までの事業内容

○事業：郊外の計画的開発団地への自動運転モビリティ導入

活用技術

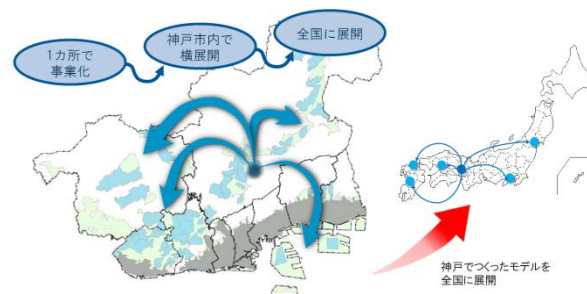
事業概要

自動運転

- ・ ラストマイル自動運転実証を実施してきた筑紫が丘のような、神戸市の地域活力を維持する上で重要な勤労者のベッドタウンである計画的開発団地が対象
- ・ 対象地域では自動運転を用いたラストマイル移動サービスを実施し、将来的には複数の郊外の計画的開発団地へ展開し、地域活力を高める「神戸モデル」の構築、さらには全国・海外への横展開を検討
- ・ 神戸市、民間事業者、群馬大学、地元交通事業者、自治会・住民組織等からなるコンソーシアム活動を実施（2018年中に自動運転システムやサービスの在り方を実証を踏まえながら検討し、事業計画案を策定。2019年中にシステムの試作版や事業計画を作成。2020年から製品版開発を行い、法整備等の条件が整い次第、サービス開始を目指す）



自動運転



神戸モデル事業体制

